

まちづくり達成状況報告（総括シート）

① 総合計画上の位置付け

施策の大綱	V 都市基盤の充実
施策の目標	1. 自然環境の保全と活用を進め、環境と共生する 2. 多様な交流を促す交通ネットワークを形成する 3. 快適な都市環境の整備を進める



② 施策と関連部署

施策	内容（関連シート No.）	関連部署
カーボンニュートラルと自然環境保全・共生	・脱炭素社会に向けた機運成熟【市民】、再生可能エネルギーの計画的な導入【行政】、産業部門との連携促進【産業】、自然環境の保全と活用、緑地や平地林の保全と活用（No.74） ・動物愛護の推進（No.75）	生活環境課、資産活用課、指導課
公園	・都市公園の適正管理（No.76） ・市民協働による管理の推進（No.77）	地域拠点整備課
道路網の整備	・広域道路ネットワークの形成促進（No.78） ・生活道路の整備推進、安全・安心な道路環境の整備（No.79） ・都市計画道路網の整備（No.80） ・地域の魅力を発信する道路網の整備（No.81）	地域拠点整備課、道路課、都市計画課
交通機関の整備	・公共交通体系の充実、移動利便性の向上（No.82）	都市計画課
土地利用と市街地整備	・持続可能なまちづくりの推進、都市計画の推進（No.83） ・地域活性化に向けた土地利用の推進（No.84） ・賑わいの創出に向けた市街地整備の推進（No.85）	都市計画課、地域拠点整備課
住宅宅地	・市営住宅の適正管理（No.86） ・安全・安心な住宅の普及（No.87） ・適正な宅地開発の誘導（No.88） ・空き家の適正な管理の推進、空き家の利活用の促進、空き家の可視化（No.89） ・地域コミュニティの活性化（No.90） ・結婚新生活支援事業（No.91）	地域拠点整備課、都市計画課
斎場・霊園	・斎場の適正管理（No.92） ・霊園（市営墓地）の適正管理（No.93）	市民課、暮らしの窓口課
上水道	・水源確保と水質の適正管理（No.94） ・水道事業運営の適正化（No.95）	水道課
下水道	・生活排水処理の推進（No.96） ・公共下水道事業運営の適正化（No.97） ・雨水排水・浸水対策の推進（No.98）	下水道課

③ 主要成果指標

（※概要欄 / ・：取組 →：方向性）

① 市役所のCO ₂ 排出削減量（平成25年度比）（No.74）	（概要）
2021年度実績：2.28% 2023年度実績：0.26% 2027年度目標：31.96% 国では、令和12年度までにCO ₂ 排出量46%削減（平成25年度比）を掲げています。市全体でのカーボンニュートラル実現に向け、市役所としても市民や市内企業の先導役として、国と同水準のCO ₂ 排出量削減を目指します。	・蓄電システム設備導入や省エネ家電の買換えに対する補助を通じて、二酸化炭素排出量削減の取組推進を図りました。 → 公共施設への再生可能エネルギー設備の計画的な導入を目指すとともに、市域全体の機運醸成を進めます。
② 1日あたりの関東鉄道常総線利用者数（市内7駅）（No.82）	（概要）
2021年度実績：4,170人 2023年度実績：5,018人 2027年度目標：5,576人 アグリサイエンスバレー事業の推進や市内公共交通網の再編などにより、市の主要公共交通機関である関東鉄道常総線の市内7駅での乗降客数を増加させることを目指します。	・市内公共交通網の再編を行い、令和6年度開始のコミュニティバスの運行実現につなげました。 → 「ふれあい号」のA1配車システムの導入など効率的なデマンド交通の運行を進めるとともに、コミュニティバスの運行最適化を図ります。
③ 空き家の利活用件数（No.89）	（概要）
2021年度実績：20件 2023年度実績：34件 2027年度目標：累計70件 地域の活性化を図るために、近年増加傾向にある空き家を地域の資源と捉えて利活用を促進する施策を継続的に展開することにより、利活用件数の増加を目指します。	・広報紙等を介して、空き家相談の啓発や空き家等バンクの物件登録について広く周知することで、空き家の利活用拡大につなげました。 → 空き家所有者の個別相談を進めるとともに、空き家の調査・データベース化を進め、問題解消の促進を図ります。